



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 明星工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 1976 URL <http://www.meisei-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 印田 博

TEL 06-6447-0275

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,525	8.2	727	△50.4	593	△53.4	640	△43.8
23年3月期第3四半期	22,675	△16.3	1,467	△22.9	1,273	△35.2	1,138	△19.1

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 496百万円 (△46.8%) 23年3月期第3四半期 932百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.30	—
23年3月期第3四半期	20.10	20.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	43,737	27,180	61.3
23年3月期	41,672	27,016	63.8

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 26,817百万円 23年3月期 26,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	7.7	1,100	△29.2	900	△39.8	650	△3.4	11.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	63,386,718 株	23年3月期	63,386,718 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,744,123 株	23年3月期	6,742,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	56,643,198 株	23年3月期3Q	56,652,376 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
受注及び売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による景気停滞後、復興需要等で持ち直しが見られたものの、欧州債務問題を背景とした金融不安に伴い世界的に経済の減速が懸念され、加えて、一段と進行する円高による国内企業業績への影響、電力不足やタイ国での洪水被害による国内生産への影響等もあり、依然として先行きの不透明感が強い状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、国内外の需要分野において積極的な営業活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、国内新規設備投資は全般的に依然として厳しい状況ではありますが、断熱工事分野における国内外案件、ボイラ事業における海外の新受注等が寄与し、28,493百万円（前年同期比34.4%増）の計上となりました。

売上高は、国内工事案件の工事進捗、引渡しが順調に推移したことにより、24,525百万円（同8.2%増）の計上となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の支出を抑制できたものの、建設工事業において完成工事総利益率が低下しており、また、クリーンルーム・冷凍庫分野の採算面が厳しいこともあり、727百万円（同50.4%減）の計上にとどまりました。

経常利益は、為替差損発生等の影響により593百万円（同53.4%減）、四半期純利益は、法人税法の改正もありましたが、640百万円（同43.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設工事業

主に国内の断熱工事・クリーンルーム等の工事進捗、引渡しが増加したことにより、売上高は21,157百万円（前年同期比4.1%増）の計上となりました。

セグメント利益は、販売費及び一般管理費は減少したものの、完成工事総利益率の低下により、523百万円（同64.6%減）の計上にとどまりました。

②ボイラ事業

国内の新受注案件について順調に進捗、引渡しが推移し、売上高は3,368百万円（前年同期比43.1%増）の計上となりました。

セグメント利益は、売上高の増加及び完成工事総利益率の改善により、170百万円（前年同期は38百万円のセグメント損失）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は26,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,503百万円増加いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が3,352百万円、未成工事支出金が2,545百万円増加し、現金預金が3,475百万円減少したことによるものであります。

固定資産は17,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ438百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が288百万円、有形固定資産が146百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は43,737百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,065百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,246百万円増加いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等が1,834百万円、未成工事受入金が749百万円増加し、短期借入金748百万円減少したことによるものであります。

固定負債は5,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円減少いたしました。これは主に法人税等の実効税率変更により、繰延税金負債が262百万円、再評価に係る繰延税金負債が79百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は16,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,901百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は27,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益640百万円、剰余金の配当339百万円及びその他有価証券評価差額金の減少90百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.3%（前連結会計年度末は63.8%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益）につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,538	7,062
受取手形・完成工事未収入金等	11,032	14,384
未成工事支出金	1,092	3,638
商品及び製品	263	471
原材料及び貯蔵品	442	330
繰延税金資産	381	269
その他	143	245
貸倒引当金	△10	△14
流動資産合計	23,884	26,388
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	7,986	8,049
機械・運搬具	4,082	4,106
土地	11,366	11,376
その他	1,035	1,039
減価償却累計額	△9,831	△10,078
有形固定資産合計	14,639	14,492
無形固定資産		
	30	28
投資その他の資産		
投資有価証券	2,336	2,048
繰延税金資産	249	298
その他	609	546
貸倒引当金	△77	△65
投資その他の資産合計	3,117	2,827
固定資産合計	17,787	17,349
資産合計	41,672	43,737
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,441	5,275
支払信託	477	625
買掛金	361	524
短期借入金	3,078	2,330
未払法人税等	176	115
未成工事受入金	578	1,328
完成工事補償引当金	58	96
賞与引当金	320	104
役員賞与引当金	36	—
工事損失引当金	151	0
その他	600	1,126
流動負債合計	9,280	11,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	525	537
退職給付引当金	1,058	1,041
役員退職慰労引当金	331	335
繰延税金負債	2,345	2,083
再評価に係る繰延税金負債	641	562
資産除去債務	23	23
負ののれん	49	37
その他	399	409
固定負債合計	5,375	5,030
負債合計	14,655	16,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	999	999
利益剰余金	19,139	19,439
自己株式	△1,744	△1,745
株主資本合計	25,283	25,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356	265
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	800	879
為替換算調整勘定	159	89
その他の包括利益累計額合計	1,316	1,233
新株予約権	25	33
少数株主持分	391	330
純資産合計	27,016	27,180
負債純資産合計	41,672	43,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
完成工事高	22,675	24,525
完成工事原価	18,172	20,902
完成工事総利益	4,502	3,622
販売費及び一般管理費	3,035	2,894
営業利益	1,467	727
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	33	41
不動産賃貸料	78	92
その他	70	65
営業外収益合計	195	214
営業外費用		
支払利息	43	25
為替差損	256	218
不動産賃貸原価	40	46
その他	49	57
営業外費用合計	389	349
経常利益	1,273	593
特別利益		
貸倒引当金戻入額	39	—
補助金収入	53	—
特別利益合計	92	—
特別損失		
投資有価証券評価損	68	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22	—
特別損失合計	90	4
税金等調整前四半期純利益	1,275	588
法人税、住民税及び事業税	160	111
法人税等調整額	135	△103
法人税等合計	295	8
少数株主損益調整前四半期純利益	980	580
少数株主損失(△)	△158	△60
四半期純利益	1,138	640

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	980	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△91
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	—	79
為替換算調整勘定	△16	△69
その他の包括利益合計	△48	△83
四半期包括利益	932	496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,091	557
少数株主に係る四半期包括利益	△159	△60

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	20,322	2,353	22,675	—	22,675
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	76	76	(76)	—
計	20,322	2,429	22,752	(76)	22,675
セグメント利益又は損失(△)	1,478	△38	1,439	28	1,467

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	21,157	3,368	24,525	—	24,525
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	129	175	(175)	—
計	21,203	3,498	24,701	(175)	24,525
セグメント利益	523	170	693	34	727

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び売上の状況

a. 受注高

区 分	平成23年3月期 第3四半期		平成24年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	平成23年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	18,677	88.1	25,537	89.6	6,859	31,641	88.8
ボイラ事業	2,518	11.9	2,956	10.4	438	3,977	11.2
合 計	21,196	100.0	28,493	100.0	7,297	35,618	100.0

b. 売上高

区 分	平成23年3月期 第3四半期		平成24年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	平成23年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	20,322	89.6	21,157	86.3	835	28,727	88.4
ボイラ事業	2,353	10.4	3,368	13.7	1,014	3,777	11.6
合 計	22,675	100.0	24,525	100.0	1,849	32,504	100.0